

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.4
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされていたか	3.8
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.7
実習器具・材料は適切であったか	
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.0
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.8
質問をしやすい雰囲気であったか	3.7
学生にとって適切な難易度であったか	4.0
学習意欲が刺激されたか	4.0
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.0
総合的な評価	4.0

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

授業では基礎系医学の知識の復習も確認しながら講義を行った。教官側からの質問形式を織り交ぜながら講義した。しかし、学生はこの集計結果から判断すると、学生側からの質問の時間も設けてほしいという風に解釈できる。したがって、来年度はもう少し学生側からの疑問や質問はないかということにも配慮したいと思う。

また、教材に対する不満があるように感じられるので、もう少し教材については視覚素材等も用いた講義を行いたいと思う。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.4
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.4
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.4
授業の準備がよくなされていたか	3.9
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.5
実習器具・材料は適切であったか	3.5
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.6
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.7
質問をしやすい雰囲気であったか	3.3
学生にとって適切な難易度であったか	3.2
学習意欲が刺激されたか	3.2
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.2
教育に対する熱意が感じられたか	3.5
総合的な評価	3.6

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

この学年には「僕たちの知らないことを授業されているので、よくわからない。」と分析されてしまい、非常に印象深い。この評価には、近年の大学授業の難しさを実感した。

来年からは、学生が既に知っていることを話すことによって、彼らの意向に添うように心がけるべきと自覚した。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.3
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされていたか	4.1
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	3.9
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.2
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.2
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.0
質問をしやすい雰囲気であったか	4.0
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.2
総合的な評価	4.2

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

授業評価集計結果と各学生からのレポートを自分なりに評価し、来年度以降の自分の授業に還元したいと考えることを以下に記す。

私の今回の授業は全てスライドによるものであり、学生達が講義時間内でその内容を全て理解することは不可能と思われたので、スライドの内容はすべてプリントにして配布した。授業のたびにその日行う内容のプリントを配布していたので、学生は予習が困難だったかもしれない。初回授業の数日前に全授業のプリントを冊子にして配布すれば、学生も予習しやすかったかもしれない。しかし前もって全授業の資料を揃えて配布することは教官にとって不可能なことである(教官も授業の直前に準備をし、スライドやプリントを作るからである)。

可能な限り私から学生に質問をしながら(発表の機会を与えながら)、講義を進めていくように努力したが、まだ不十分であると感じている。限られた時間内で、学生に多くの質問をしながら授業を進めていくのは容易でないが、そうすることによって、逆に学生も質問しやすいであろうし、学習意欲を刺激することにつながると考えられるので、来年度も今年度以上に実践していきたい。

自分の授業内容は単なる知識の羅列にすぎない箇所が多々あると思う。当然、学生の学習意欲を刺激するような授業ではないだろう。来年度は症例供覧を今まで以上に取り上げ、こういう症例ではどういう治療法を行うかというより実践的なテーマに沿って授業(特に各論)を進めてみたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.2
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.2
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされていたか	4.2
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.9
実習器具・材料は適切であったか	
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.8
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.9
質問をしやすい雰囲気であったか	4.1
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	4.1

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

講義の方法はスライドを用いたプレゼンテーションにより行い、講義の内容は全てプリントで配布しているが、実際に講義中の質問は少なく、授業の予習・復習を行ったかという項目のスコアが2.2であった点も影響しているように思われた。また、講義の時期にもよるが、他の科目の試験対策をやっている学生がかなり散見され、単に出席チェックのために受講している態度も目立つ。

講義内容は常に最新のものにバージョンアップさせる必要があり、毎年スライドを再作成するのは無駄が多いため、現在、パソコンによるプレゼンテーションに移行中である。さらに、学生の理解を深めるためには、多くの病態写真やビデオの供覧なども有用と思われ、プレゼンテーションへの組み込み作業を行っている。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.3
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされていたか	4.3
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.1
実習器具・材料は適切であったか	3.8
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.0
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.1
質問をしやすい雰囲気であったか	4.2
学生にとって適切な難易度であったか	4.2
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	4.2

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

授業に関する事項は、総じて4.1以上で、ここ数年来学生の意見を積極的に取り入れながらFDに取り組んできた成果が現れてきたように感ずる。一方、学生に関する事項は、予習・復習の項目が2.3と低かった。授業内容の十分な理解には予習・復習が大きな役割を担うので、改善の必要性を痛感した。対策としては、授業の最後に、次回のレジメを渡して内容の解説、学習のポイントや参考図書の紹介などを行い、予習・復習が習慣付けられるように工夫したい。

実習に関する項目があったので、実習と講義に関する項目を分離した方が良いと思います。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.4
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされていたか	4.3
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.3
実習器具・材料は適切であったか	3.9
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.1
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.2
質問をしやすい雰囲気であったか	3.8
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	4.0
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.2
総合的な評価	4.3

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

本年は授業ツール(プリント類、画像ファイル等)の質的向上を図ったが、昨年に比べて全体的に評価が低調であり、4.0未満が2項目あった。

「質問をしやすい雰囲気であったか」の項目では、講義の最後にはいつも質問の時間を設けていたが、一部の学生を除きほとんど質問されることはなかった。講義内容を正しく理解してもらおうとするあまり、講義が一方的になり過ぎた部分もあると思われる。講義中に質問しやすい雰囲気と余裕を持てるように努力する必要がある。「教員が学問分野の専門家として信頼できたか」の評価は高く、歯科医療の重要性を理解させることはできたと思われる。

実習関連の2項目については、ライター8名の担当であり実習全体に対する評価と考えたいが、「実習器具・材料は適切であったか」の評価が低かった。消耗品に関しては十分準備していたが備品類の故障が多く、結果として実習進行に支障が出る場面もあったためと思われる。早急な模型実習室の全面的整備が望まれる。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.6
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.2
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.4
授業の準備がよくなされていたか	4.7
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.5
実習器具・材料は適切であったか	4.3
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.7
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.5
質問をしやすい雰囲気であったか	4.2
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	4.4
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.8
教育に対する熱意が感じられたか	4.6
総合的な評価	4.6

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

総合的に見て思った以上に高い評価をもらって嬉しく思います。学生に評価された理由として最も多かったのは、「授業がシンプルで分かりやすかった」というものでした。これは、よくまとめた内容を板書するように努めたことと、前年度のアンケート結果での批判に基づいて視覚教材の授業での使用を増やしたことが功を奏したようです。今後もこれらの点のより一層のポリッシュアップに努めていこうと思います。逆に今回の評価項目の中で最も評価の悪かったのは、「授業中に質問しやすい雰囲気であったか」についてでした。授業時間にあまり余裕がないというのが現実ではありますが、今後は授業中にも学生に発言の機会をできるだけ与えるような工夫をして、学生に不満のない双方向授業の実現を目指していこうと思います。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.3
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.7
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.8
授業の準備がよくなされていたか	3.9
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.6
実習器具・材料は適切であったか	3.8
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.9
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.9
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.8
質問をしやすい雰囲気であったか	4.1
学生にとって適切な難易度であったか	4.0
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.2
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	4.0

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

最も痛感した点は、学生自身が授業に対して予習復習をしたスコアが極めて低いことであつた。この点について、予習復習を促すような示唆を前もって具体的にすることを今後の課題としたい。具体的にはレポートなどを前もって課すことが好ましいと考えている。このレポートを課すことは、実際の授業において相互の認識を高めることと、提出されたレポートによりウエイトを置く課題が明確となり相互理解も得られる。さらに、教材の充実など評価で比較的低いスコアの項目【到達目標の説明, 学生による質問および発表の機会、学習意欲の向上】の改善をはかれると考える。シラバスに沿う授業については、シラバス自体が総論的のため、おそらく学生さんも評価に困惑したのではないかと思う。特にシラバスと具体的関連性のある授業を担当した場合とそうでない場合では評価の正当性に疑問を抱かざるを得ない。最後にこのような評価における客観性について問うのは非常にむづかしく、学生に都合のよい対応となる場合もあり、自主的学習姿勢を基本的教育方針としている私としては、評価をどのように解釈していくのか検討していきたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.7
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.2
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.2
授業の準備がよくなされていたか	4.2
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.3
実習器具・材料は適切であったか	
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.0
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.3
質問をしやすい雰囲気であったか	4.1
学生にとって適切な難易度であったか	4.2
学習意欲が刺激されたか	4.5
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.7
教育に対する熱意が感じられたか	4.7
総合的な評価	4.4

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

「教員が学問分野の専門家として信頼できたか」「教育に対する熱意が感じられたか」「学習意欲が刺激されたか」等の項目は、一昨年および昨年に続いて高い評価を受けた。このことは授業評価表の記述欄に「国試も意識した講義は学習意欲を刺激された」「国試対策を取り入れているのが良かった」との記載があったことから、学生は国試対策も含めた講義により学習意欲が刺激されることが分かる。今後も機会あるごとに国試対策の話を講義に取り入れて、学生の向学心を刺激していきたいと思う。逆に、全項目の中で「明瞭で聞き取りやすい話し方であったか」の評価が一番低かった。この件に関しては、「声が大きくて聞き取りやすかった」という意見もあった反面、「少し早口で聞き取りにくい所もあった」という意見もあり、学生の意見が分かれているようである。ただ、大阪弁で早口になるのは事実であり、私の環境的因子および遺伝的因子が複雑に関与していると思われる。しかし、決められたカリキュラムの講義時間枠内に、より多くの知識を学生に教授しようというサービス精神の表れであるとも解釈できる。特に最近は歯科医療事故や歯科死亡事故が社会的にも大きな問題になっており、予防対策や救急処置の講義も充実させたいと思っている。「もっと講義時間が増えると良いです」との意見もあり、最近の社会のニーズや学生の要望を配慮した講義時間数の見直しを教育委員会で検討していただきたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.1
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.5
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.2
授業の準備がよくなされていたか	3.5
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.5
実習器具・材料は適切であったか	3.5
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.8
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.2
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.5
質問をしやすい雰囲気であったか	3.6
学生にとって適切な難易度であったか	3.7
学習意欲が刺激されたか	3.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.0
教育に対する熱意が感じられたか	3.7
総合的な評価	3.8

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

今回の学生評価は前年度と比較して少し厳しかった。前年度14項目の総点数が52.75であったものが、今回の評価では49.6と少し下がってしまった。評価を受ける前に、普通平均が3で厳しく評価してもらった方が次回の授業・講義・実習に活かせるから酷評があっても構わない旨を告げてから評価を受けたことがこのような結果を得た可能性も考えられるが、取り組みに若干の気のゆるみが有った可能性は十分に考えられる。「授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか」に対しては、これらについて十分説明を行わなかったことがあったのか、前年度は3.86であったが、今回は3.2に低下してしまった。このことについては十分納得でき、反省すべき点であると考えている。

次に、「質問や学生による発表の機会を与えられたか」の問に対して、前年度は4.17であったものが、今回は3.5とかなりの低下がみられたが、質問は全ての学生に行い、ある程度の意見交換・意思疎通があったと考えている。しかし、学生による発表形式を全く採り入れなかったことは事実であり、次回の授業には、ある程度学生による発表も採り入れたいと考えている。決められた時間内に出来るだけ多くの事を教えたいとの配慮で学生による発表は行わせなかったが、自主的に勉強し、問題を発見させ、解決させるという点を考慮すると、学生による発表は必要と考える。以前、学生実習の結果を学会形式で発表させたこともあり、是非この形式を復活させたいと考えている。

最後に「実習器具・材料は適切であったか」の問に対して、前年度は2.88であったものが、今回は実習用器具・材料を若干整備出来たこともあり、3.5に上昇したことは、誠に喜ばしい次第である。他大学と較べてあと少しは器具・材料等を整備したいと考えている。学生間で能力や勉学意欲に可成りの差があり、今回は授業では、照準を平均より少し下げを行い、物足りなさを感じている学生には専門書で納得のいく勉強をするようお願いした。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.4
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.3
授業の準備がよくなされていたか	4.3
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	4.1
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.2
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.8
質問をしやすい雰囲気であったか	3.8
学生にとって適切な難易度であったか	4.0
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	4.1

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

学生との双方向性を評価する「質問」や「発表」の項目で相対的に評価が低い。また、その事が「学習意欲」にも反映しているのかも知れない。知識の確認や伝達だけに偏らず、学生が自ら考える事が出来る様なテーマや授業の組み立てを考えたい。

また、昨年までは授業中に質問を書いて貰い、次の時間にその全ての質問をプリントで全員に配り、その質問に答え、解説するという時間を設けていたが、今回は学修テーマを増やした事と、台風による休講が生じたため、時間にゆとりがなく、実施できなかった事も、評価の低下に反映していると思われる。

教材とシラバスを充実させることによって、知識の確認は課外学習で補うなどの工夫をし、ある程度、ゆとりを持った授業計画を立てたいと思う。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.3
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.2
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.2
授業の準備がよくなされていたか	4.2
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.0
実習器具・材料は適切であったか	
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.0
質問をしやすい雰囲気であったか	4.2
学生にとって適切な難易度であったか	4.2
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.5
教育に対する熱意が感じられたか	4.4
総合的な評価	4.3

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

教授要綱に従って講義を行うと授業時間不足を感じており、授業のそれを念頭におき講義すると内容が豊富なりすぎて時間不足、ひいては学生にとって消化不良を起こしていると考えられる。それ故に、学生からの授業評価では資料作成ならびに教材不足との指摘があります。今までプリントするとプリントすることで学生が安心してしまい余り勉強をしなくなる傾向があったため意識して教材を作成していなかった。今回の学生の評価で教材不足を指摘されたこともあり、また、講義の範囲が広いため講義内容をコンパクトにまとめた学生に配布する資料を作成中である。また、講義が一方的であるとの指摘があったので授業内容を再度点検し必要最小限度にして、授業時間に余裕を持たせて出来る限り双方向の授業出来るように取り組みたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.4
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.3
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.2
授業の準備がよくなされていたか	3.6
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.1
実習器具・材料は適切であったか	3.5
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.4
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.0
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.1
質問をしやすい雰囲気であったか	2.9
学生にとって適切な難易度であったか	2.8
学習意欲が刺激されたか	2.7
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.2
教育に対する熱意が感じられたか	3.3
総合的な評価	3.1

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

学生の感想の中で一番多くあげている不満点は、スライド中心の授業だったのでノートを取りにくいと言うものであった。次に多い不満点は、授業の展開が早く理解できないという点であった。また、話がたどたどしいと言う批判もあった。

担当している領域が情報量のとても多い領域であったので、学生たちが消化不良を起こしていることが、このアンケートによりよくわかった。また、教科書で足りないところを補充しながらスライドを作っていたのだが、かえって情報が増え消化不良を増してしまったように思う。

今後は、学生に与える情報量を少なくし、エッセンスを伝えるようにしていきたい。また、教科書を重視し、教科書の内容や文章の理解を助けるという形の授業にしていきたい。そしてまた、学生が授業をどの程度理解できたかと言うことを、その都度理解出来るようにしていきたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	1.3
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.3
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.1
授業の準備がよくなされていたか	3.5
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.4
実習器具・材料は適切であったか	3.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.2
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.0
質問をしやすい雰囲気であったか	2.8
学生にとって適切な難易度であったか	3.2
学習意欲が刺激されたか	2.8
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.2
教育に対する熱意が感じられたか	3.8
総合的な評価	3.3

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

昨年度の授業経験および学生による授業評価を参考にして本年度は更に改善したつもりであるが、昨年度より評価が低かった。改善した点は、授業内容を学生の関心に合わせてより具体的にしたことである。最も改善すべき点は、授業内容を盛り込みすぎて学生にせわしく感じさせ、自ら考えたり、内容を十分に把握させる時間を与えなかったことである。話し方が速すぎるのも内容の過多と関連しているように思われる。今後内容を再吟味し、時間内で十分理解できるような授業を心がけるつもりである。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.9
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされていたか	4.1
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.0
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.2
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.6
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.9
質問をしやすい雰囲気であったか	4.0
学生にとって適切な難易度であったか	3.8
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	4.1

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

「専門家としての信頼・教育に対する熱意」は高く評価してはいるが、例年聞き取り難いとの評があり、授業中に「明瞭に聞こえるか」と数度にわたり確認しているにもかかわらず、例年通りの評でややガッカリしているが、恐らく初めての専門授業であり、かつ膨大な量の詰めこみ型の教育法をあえて採っており、学生は授業に不慣れでついてくる限界を超えているのかもしれない。また、「主題・概要・到達目標等の説明」も低い評価であるが、この点は意識して授業当初や授業毎に説明しており、やや消化不良の様である。基礎科目として量を下げる訳にはいかないが、全体として学生からの信頼感にそう問題もないため、もっと理解しやすいように話せば、結果的によく「聞こえる・聴こえる＝理解する」ことになると考える。この点が努力目標となろう。「予習・復習を行ったか 2.9」である。予習が容易なようにシラバスおよび授業当初さらに詳細な予定表をプリントで示している。予習・復習の習慣がない。悩ましい問題である。

全体として、3以下を多数つけた学生(7~8名)には1つの自由記載もない、やる気が疑わしい。むしろ高得点を与えた学生のほうが批判を多く書いており参考になった。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.7
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.8
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされていたか	4.2
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.6
実習器具・材料は適切であったか	3.6
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.1
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.4
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.4
質問をしやすい雰囲気であったか	2.8
学生にとって適切な難易度であったか	3.2
学習意欲が刺激されたか	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.2
教育に対する熱意が感じられたか	4.0
総合的な評価	3.7

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

評価は、02年、03年、04年と、全スコアの平均(4.2, 4.0, 3.6)とスコア4以上の項目数(11, 9, 4)が低下し、スコア3未満の項目が今年(0, 0, 1)生じた。また、これまで10数%であった自由記載欄への記載が、今年は記載を促したこともあって約81%になった。3年連続してスコアが4以上の項目(授業の準備、専門家としての信頼性、教育に対する熱意、実習の意義)は授業に対する姿勢と実習に関するもの、スコアが4未満の項目(質問のしやすさ、難易度の適切さ、学習意欲の刺激)は授業方法の工夫に関するものと考えられた。どれかに1を付けた学生8名中、1項目が5名、2項目が1名、4項目と総合が1名、10項目と総合が1名であった。1項目の2名が実習器具・材料(器具の不足)に関するものであった以外、質問のしやすさを含んでいた。自由記載欄の批判的意見は、的外れなもの以外は、概ねメリハリの無さ(単調な話し方)、用語の難解さ、進行の早さに関するものであった。今年度から加わった学生自身の予習・復習の項目の評価を含め、次年度は授業になお一層の工夫を図りたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.8
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.2
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.2
授業の準備がよくなされていたか	3.4
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.3
実習器具・材料は適切であったか	3.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.1
質問をしやすい雰囲気であったか	3.1
学生にとって適切な難易度であったか	3.2
学習意欲が刺激されたか	3.0
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.2
教育に対する熱意が感じられたか	3.2
総合的な評価	3.2

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

鹿大に来て、まもなく講義と実習を担当するようになり、同時に各種委員をひきうけ、思うにあまりにもオーバーワークであった。私自身の学生教育や各種委員の仕事の内容に対する見込みの甘さが原因で招いた事態であると思う。今回の厳しい評価を反省の機会とし、自分の非才を認識し、学生に求められるレベルの授業をできるようになりたい。実習については、今年から、助手二人が手引きの作成から実習講義まで担当してくれるようになり、私の負担は軽減された。その分を学生教育の質の向上に振り向けたい。なお、一部の学生に対して厳しい態度をとったことは事実であるが、故あってのことである。また、この当事者たちからは、抗議も弁明もなかったので否を認めているものと判断していた。今回、初めてこれらの者たちの肉声を聞いた状況であるが、いずれも非常に感情的であること、私の授業に対する評価も一様に投げやりであることを残念に思った。しかし、これも今後の反省の材料としたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.6
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.7
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされていたか	4.3
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	4.1
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.1
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.8
質問をしやすい雰囲気であったか	3.7
学生にとって適切な難易度であったか	3.8
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.2
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	4.2

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

1 回目のアンケートは3 回目の講義後に、2 回目は1 9 回目の講義後にとったものであるが、1 回目より2 回目にとったアンケートではすべての項目で点数が良くなっている。また、1 回目は1 9 名の意見記載のうち1 2 名、2 回目は1 9 名の意見記載のうち5 名が批判的なものであり、批判的な意見の記載も減少している。具体的な改善をこの期間内にしたわけではないが、授業スタイルを受け入れていただいた結果であると理解している。以下に意見を集約する。

	1 回目アンケート	2 回目アンケート
批判的意見	8 名：配布資料の順番とスライドの順番が一致していない。 2 名：授業の進行は早い。 1 名：パワーポイントの赤い字が見難い。 1 名：生徒への呼び方が悪い。	3 名：授業の進行が早い。 1 名：パワーポイントの赤い字が見難い。 1 名：全ての画面の印刷物を配付してほしい。
賞賛的意見	2 名：配布資料が良い。 2 名：興味深い。 1 名：声が聞き取りやすい。 1 名：スライドの効果音が良い。	3 名：分かりやすい。 3 名：親しみやすい。 3 名：配布資料が良い。 2 名：声が聞き取り易い。 2 名：余談が良い。 1 名：復習がしやすい。

1 回目のアンケートで8 名から配布資料の順番とスライドの順番が一致していないと指摘されたが、パワーポイントのメイン画面から、いくつかリンク先の画面に飛んで、またメイン画面に戻ってくるという場合があり、印刷物にするとどうしても順序が逆転する場合がでてくる。リンクをやめ一つのファイルとして教材をまとめるよう改善してゆく。授業の進行が早いと感じている人がいるが、配布資料を工夫して改善してゆきたい。1 回目のアンケートのときにパワーポイントの赤字が見難いと指摘されたが変更せずにいたら、2 回目でも指摘されてしまった。次年度は考慮する。生徒への呼び方が悪いと指摘されたことは、心外であるが、親しみを込めた意味で使っている言葉が一部の人には、侮辱的に聞こえるようであり、今後注意してゆきたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.5
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.1
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.2
授業の準備がよくなされていたか	4.7
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.5
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.6
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.3
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	3.9
学習意欲が刺激されたか	4.2
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.6
教育に対する熱意が感じられたか	4.6
総合的な評価	4.4

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

1 回目のアンケートは3 回目の講義後に、2 回目は1 9 回目の講義後にとったものであるが、1 回目より2 回目にとったアンケートではすべての項目で点数が良くなっている。また、1 回目は1 9 名の意見記載のうち1 2 名、2 回目は1 9 名の意見記載のうち5 名が批判的なものであり、批判的な意見の記載も減少している。具体的な改善をこの期間内にしたわけではないが、授業スタイルを受け入れていただいた結果であると理解している。以下に意見を集約する。

	1 回目アンケート	2 回目アンケート
批判的意見	8 名：配布資料の順番とスライドの順番が一致していない。 2 名：授業の進行は早い。 1 名：パワーポイントの赤い字が見難い。 1 名：生徒への呼び方が悪い。	3 名：授業の進行が早い。 1 名：パワーポイントの赤い字が見難い。 1 名：全ての画面の印刷物を配付してほしい。
賞賛的意見	2 名：配布資料が良い。 2 名：興味深い。 1 名：声が聞き取りやすい。 1 名：スライドの効果音が良い。	3 名：分かりやすい。 3 名：親しみやすい。 3 名：配布資料が良い。 2 名：声が聞き取り易い。 2 名：余談が良い。 1 名：復習がしやすい。

1 回目のアンケートで8 名から配布資料の順番とスライドの順番が一致していないと指摘されたが、パワーポイントのメイン画面から、いくつかリンク先の画面に飛んで、またメイン画面に戻ってくという場合があり、印刷物にするとどうしても順序が逆転する場合がでてくる。リンクをやめ一つのファイルとして教材をまとめるよう改善してゆく。授業の進行が早いと感じている人がいるが、配布資料を工夫して改善してゆきたい。1 回目のアンケートのときにパワーポイントの赤字が見難いと指摘されたが変更せずにいたら、2 回目でも指摘されてしまった。次年度は考慮する。生徒への呼び方が悪いと指摘されたことは、心外であるが、親しみを込めた意味で使っている言葉が一部の人には、侮辱的に聞こえるようであり、今後注意してゆきたい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	1.9
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.4
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.3
授業の準備がよくなされていたか	3.6
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.7
実習器具・材料は適切であったか	3.6
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.8
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.3
質問をしやすい雰囲気であったか	3.4
学生にとって適切な難易度であったか	3.4
学習意欲が刺激されたか	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.9
教育に対する熱意が感じられたか	3.3
総合的な評価	3.5

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

学生による授業評価が始まり、学生がどのように自分を評価しているか興味あるところであったが、学生にとってはまだ最終試験前であり、きたんない意見を述べているかどうか疑わしい限りである。アンケートの結果は講義時間が短いのが良いとの意見が2例のみで、五段階評価の部分では実習との関連性がわからないとの意見と、予習復習をまったく行わないが大多数であった。次年度から臨床と講義の関連性を理解してもらうために、積極的に学生が講義に参加し、前回の授業の就学度を授業項目に関連するグループ発表を取り入れていく予定である。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.6
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされていたか	4.1
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.1
実習器具・材料は適切であったか	4.3
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.5
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.3
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.6
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	4.0
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.4
教育に対する熱意が感じられたか	4.3
総合的な評価	4.3

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

全体の評価としてはまずまずと思われる。ただ、昨年同様に学生たちに発表の機会や、質問する機会を与える時間的余裕が無かった点は的確に低い評価となって現れている。今回は約三分の一の学生がコメントを書ってくれた。それによると、講義と実習のコンビネーションは良い評価を与えられていた。ただ、現在は前半に講義を行い、後半を実習にあてているが講義と実習を平行してほしいとの要望があった。講座内でもその方が学生に理解されやすいのではという議論はあるがあるので、検討を続けたい。また、板書中心の講義の進め方については肯定的な意見が多く、これからもその方針でいこうと考えている。ただ、数名の学生から声が小さい時があることと、講義が淡々と進みすぎもう少しメリハリが欲しいとのコメントが寄せられており、声の大きさについては全く気がついていなかったことであり、強く反省している。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.9
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.6
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.5
授業の準備がよくなされていたか	3.7
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.3
実習器具・材料は適切であったか	3.4
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.5
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	3.6
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.6
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	3.3
学習意欲が刺激されたか	3.3
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	3.9
教育に対する熱意が感じられたか	3.7
総合的な評価	3.6

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

平成16年度の講義(19コマ)で合計3回の授業評価を受けた。いずれの集計結果も多少の違いはあるものの似たようなものであった。これらの評価を受けて、本質的には変わらないと思うが、改善できるところは努力するつもりである。しかしながら、現状の講義体系(時間・設備・経費・学生数など)の中でさらにその学習効果をあげようとするなら、学生諸君のやる気にも期待したい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.6
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされていたか	4.1
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.0
実習器具・材料は適切であったか	3.6
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.5
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.0
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.7
質問をしやすい雰囲気であったか	3.9
学生にとって適切な難易度であったか	3.7
学習意欲が刺激されたか	3.8
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.0
教育に対する熱意が感じられたか	3.8
総合的な評価	4.1

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

1. これまで毎回、定期試験のときに、今回行ったような学生による授業評価を行ってきた。したがって今回得られた評価に、特別の感慨はない。おおむね例年と同じ評価であるとする。ただ私がこれまで行ってきた方式は、自由に文章で記載させる方式だったため、学生個々人の肉声をもっとよく把握できていたように思う。おそらく今回は、学生が点数をつけることを中心に考えたため、自由記載欄に記載が少なかったのではないかと。来年からはもっと自由に意見を述べるように指導していきたい。
2. 例年、プリントを用意して、教科書、スライドと併用して講義を行っている。幸い自家製のプリントは、学生たちにおおむね好評のようである。このところしばらくさぼって、改訂していないので、来年度はぜひ、これを実行したい。
3. 実習室の諸設備の疲弊、老朽化が著しい。とてもまともにやれたものではない。学生たちに団交でも何でもやってみると煽動したこともあるが、かれらはただぼんやりとした顔をしているばかりである。つまらないこと甚だしい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.7
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.1
授業の準備がよくなされていたか	4.4
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.4
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.3
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.7
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.1
質問をしやすい雰囲気であったか	4.3
学生にとって適切な難易度であったか	4.1
学習意欲が刺激されたか	4.1
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.1
教育に対する熱意が感じられたか	4.6
総合的な評価	4.4

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

講座内での授業分担が確定するのがシラバス発行より遅かったため実際の授業とシラバス内容が合っていなかった事と、到達目標が具体性に欠けて学生に理解し難かった事は改善を要する。また、限られた時間の中でたくさんの事を教授しようとするあまり、議論や発表の場を設けられなかったことが反省点である。

今後はシラバスと到達目標を正確かつ明確にして事前に周知させることと、教授内容を厳選してでも時間に余裕を持って学生との問答を行い、一方通行ではない授業を心がけたい。

パワーポイントでの講義は学生の評価で賛否両論あり、進行速度や復習の便を理由に板書をノートに書き写す方式を支持する学生もいる。スライドは図や写真の説明に用いるべきで、文字だけのスライドを映すことを慎み、印刷資料として配布するか、要点を板書するようにしようと思う。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.8
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.7
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.9
授業の準備がよくなされていたか	4.1
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.2
実習器具・材料は適切であったか	3.9
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.0
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.1
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.0
質問をしやすい雰囲気であったか	4.0
学生にとって適切な難易度であったか	4.0
学習意欲が刺激されたか	3.9
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.0
教育に対する熱意が感じられたか	4.1
総合的な評価	4.1

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

総合評価の平均点4.1は満足していますが、4項目は4点より低い評価をされていたことが残念である。特に『シラバスに沿った授業がなされたか』の評価が一番低いのが、講義の内容が明らかに専門的なことを取り上げたことが難しく感じられ、時間不足から消化不良を起こしているのではと推定される。これと関連がある『授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか』の評価が同様に低くなるのも合致する。

したがって、もう少し授業時間数や内容を余裕あるものにして、将来臨床の現場でも応用が利く基本的な事項を繰り返し強調し、十分に理解できる方法を再考したい。具体的な方法としては、基本的な用語や典型的な疾患を課題にして、学生にグループディスカッションや発表の機会を与えて、従来型の授業から脱却した授業を目指し、学生の興味を引き出す講義の実施に努めたい。これらを実行するためにも日頃から授業の教材となる症例を収集することが大切である。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.3
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	4.0
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	4.0
授業の準備がよくなされていたか	4.5
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	4.5
実習器具・材料は適切であったか	4.2
実習は授業内容の理解に役立ったか	4.2
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.7
質問や学生による発表の機会を与えられたか	4.3
質問をしやすい雰囲気であったか	4.3
学生にとって適切な難易度であったか	4.2
学習意欲が刺激されたか	4.2
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.5
教育に対する熱意が感じられたか	4.6
総合的な評価	4.5

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

項目(1)：シラバスに沿った講義がなされたか、項目(2)：主題・概要・到達目標等の説明があったか、の2項目について低い評価がなされた。シラバスに関しては、最新の歯科医療関係の情報や、社会情勢などに関する話題も適宜挿入するため、必ずしも一致してしない。シラバスを工夫する予定である。主題、到達目標等については、将来の歯科医師として必要であることを強調しているが、学生はもっと卑近な期末試験の合格レベル、国家試験の合格レベルをイメージしているのではないか。来年度は、期末試験、卒試・国試、将来の歯科医師としての三つの項目に分けて到達目標を設定してみたい（はたして意味のあることか、それに可能か?）。昨年度の評価に鑑みて、今年から授業内容のプリントを作製、配付した。項目(4)の評価が向上したことで内容等は概ね適切であったと考える。実習に関係する項目(5)、(6)もまずまずの評価であり、関係した教室員の努力を評価したい。

■ 記入学生に関する事項

この授業の予習・復習を行ったか	2.6
-----------------	-----

■ 対象教員の授業に関する事項

シラバスに沿った授業がなされたか	3.6
授業の主題・概要・到達目標等の説明があったか	3.6
授業の準備がよくなされていたか	3.8
教材(プリント, スライド, 教科書, 参考書, 板書等)は適切であったか	3.7
実習器具・材料は適切であったか	3.7
実習は授業内容の理解に役立ったか	3.8
明瞭で聞き取りやすい話し方であったか	4.0
質問や学生による発表の機会を与えられたか	3.1
質問をしやすい雰囲気であったか	3.4
学生にとって適切な難易度であったか	3.7
学習意欲が刺激されたか	3.8
教員が学問分野の専門家として信頼できたか	4.3
教育に対する熱意が感じられたか	4.0
総合的な評価	3.8

■ 自己分析評価や具体的に改善した点

総合的にはだいたい平均的な結果であったと考えている。標本等を用いての講義は内容を理解する上で非常に有用な手段であることが学生の記述等からも良く理解できた。今後はされにこの様な方法に工夫をこらして行きたいと考える。一方プリント等の資料を事前に配布しているにもかかわらず、あまり予習・復習を行っていない学生もいる様である。学生側ももっと積極的にただ教授側からの押しつけでなく自主的に講義に望む体制が必要であると考えている。そのためにも今後は講義の始めの質問・発表の機会を設け、その結果も成績評価に加味することを検討している。